

## シャープニング

- ① スケーラーの種類・構造・形態
- ② カuttingエッジ
- ③ テスティング
- ④ ストーンとスケーラーの持ち方・位置決め（角度）
- ⑤ ストレートスケーラーのシャープニング
- ⑥ 近心用スケーラーのシャープニング
- ⑦ 遠心用スケーラーのシャープニング

1

## グレイシーキュレットの特徴

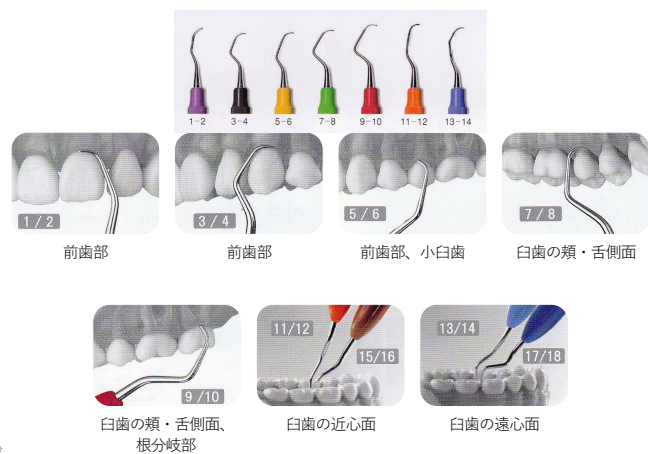
番号により使用する部位が決まっている

番号による使用部位	
1/2	前歯部
3/4	前歯部
5/6	前歯部、小白歯
7/8	白歯の頬側面および舌側面
9/10	白歯の頬側面および舌側面、根分岐部
11/12	白歯の近心面
13/14	白歯の遠心面
15/16	白歯（特に大臼歯）の近心面
17/18	白歯（特に大臼歯）の遠心面



23/3/16 22時35分

2



23/3/16 22時35分

3

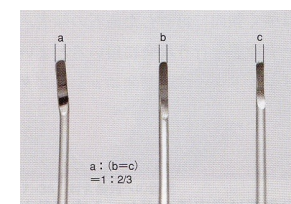
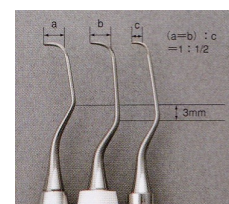
## グレイシーキュレットの種類

シャンクおよび刃部の長さ・幅

aスタンダード

bアフターファイブ

cミニファイブ



23/3/16 22時35分

4

### グレイシーキュレットの特徴

★Billion★

★Cutting edge is attached to the first shank at an angle of 70 degrees.

- 辺縁歯肉からカッティングエッジを挿入させるときに、歯面とカッティングエッジが0°に近い方が歯周組織を傷つけない。第一シャンクに対し70°の角度であれば、第一シャンクを少し傾けることによって歯面への角度を0°に近づけることができる
- 歯石除去時に術者にパワーを最大限に活かすことができ、しかも歯根面を傷つけない作業角度は70°前後であるため、第一シャンクを歯石除去する歯面と平行にすれば、理想的な作業角度になる

23/3/16 22時35分

5

### グレイシーキュレットの特徴

★Cutting edge is attached only on one side.

- 片刃であることにより、歯肉縁下での作業時に周囲組織を傷つけず歯根面だけにカッティングエッジを当てることが可能

23/3/16 22時35分

★Billion★

6

### グレイシーキュレットの特徴

★Cutting edge is curved.

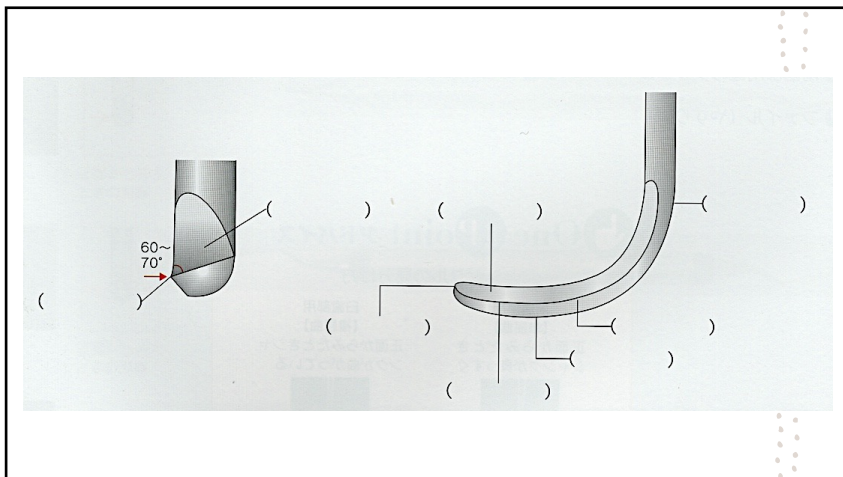
- このカーブは、歯根面のカーブにカッティングエッジをフィットさせやすく、歯質や歯周組織へのダメージを最小限にとどめたいという意図がある

23/3/16 22時35分

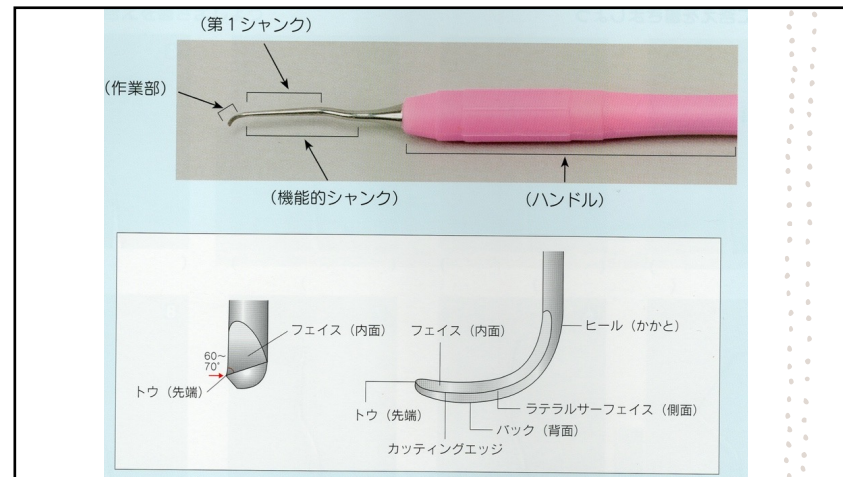
7

### キュレットの名称

8



9



10

★ Brillia ★

**表 生体の状態・部位に応じた手用スケーラーの選択**

① 歯周ポケット内の多量の歯石、硬い歯石	スタンダードタイプ
② 歯周ポケットの入口部が狭く深い部位、齶生部位、歯肉が線維性の場合、根分岐部	スタンダードタイプ スタンダードタイプより第1シャंकが長く刃部の幅が狭く短いもの 例：Hu-Friedy：ミニファイブ アメリカンイーグル：グレーシアークセス YDM：ミニ
③ 5 mm 以上の深い歯周ポケットのある部位、狭い根面	スタンダードタイプより第1シャंकが長く刃部の幅が狭いもの 例：Hu-Friedy：アフターファイブ アメリカンイーグル：グレーシードープポケット
④ 硬い歯石がある部位	スタンダードタイプで第一シャंकが太いもの 例：Hu-Friedy：リジット YDM：ハード
⑤ 開口しにくい患者さんの臼歯部	スタンダードタイプでシャंकの角度が鋭角なもの 例：Hu-Friedy：FIT11/12、FIT13/14 アメリカンイーグル：15/16 LM-インスツルメント：15/16、17/18 YDM：G15/16

**図3 さまざまな形態・素材のハンドル**  
 ①八角形鉛筆型、②丸型、③シリコン製、④樹脂製  
 ⑤サテンスチール製、⑥レジン製

23/3/16 22時 35分

11

プロフェッショナルならば、  
器具のメンテナンスは必須である

スケーラーは立派な刃物である

プロならば、使う刃物は常にシャープな状態に管理

切れなくなった刃を再び切れるようにすること

23/3/16 22時 35分

★ Brillia ★

12

### シャープニングされたスケーラー

付着物全体の除去が可能

鋭利なキュレット (断面図)

歯根面 付着物

キュレットの側面

歯面に沿って付着物の底部にキュレットがあてやすい

23/3/16 22時35分

13

### シャープニングされていないスケーラー

付着物全体の除去はできない

鈍いキュレット (断面図)

カッティングエッジが歯面に当たっていない

23/3/16 22時35分

14

### すべては患者さんのために…

シャープニングがしっかりできている

作業時間の短縮

操作が楽に正確に

術者の疲労低減

質の高い治療 = 患者さんへの貢献

23/3/16 22時35分

15

### シャープニングストーンの種類

名前	組成	潤滑	粗さ	応用
アーカンサストーン	自然石	オイル	ファイン	スケーラーの仕上げ
セラミックストーン	人工石	水・ドライ	ファイン	スケーラーの仕上げ
インディアストーン	人工石	オイル	ミディアム ファイン	外科器具の仕上げ スケーラーの仕上げや形態修正

4: ブルーの面は形態修正や研磨用の粗目「インディアストーンとアーカンサストーンの間」、ホワイトの面は研磨や仕上げ用の細目「セラミックストーンと同じ」と2つの要素がひとつになっている。オイル不要・オートクレーブ滅菌可能

- インディアストーン (ミディアム): 人工石
- インディアストーン (ファイン): 人工石
- アーカンサストーン: 天然石
- デュアルストーン: 人工石

23/3/16 22時35分

16

### ★ Brillia ★

## テストスティック

- 左手でスティックの下半分を持つ
- スケーラーを持った右手の薬指を支点とし、スティックに固定させる
- 第一シャンクをスティックに平行に密着させる
- 1秒ほど軽い力で食い込ませる
- ふわっと

23/3/16 22時35分

17

## シャープニングのコツ

---

スケーラーの構造を理解しているか？

---

シャープなエッジとそうでないエッジの違いが分かるか？

---

ブレード先端付近だけでなく側面全体を研磨すれば尖らない

---

ブレードの構造に従い、研磨面は曲面でなく、直線状に

---

ストーンにあてる角度はピースサインで一定に

---

奇数偶数番号でコツがある

23/3/16 22時35分

★ Brillia ★

18

## シャープニングで目指す形態

側面から見て

フェースが曲面

+

上面から見て

カッティングエッジが真っ直ぐで、幅がヒールからトゥまで一定で先端が丸い

+

正面から見て

フェースに20度のオフセットが付与され、カッティングエッジは約75度

(グレーシーキュレットの場合)

23/3/16 22時35分

★ Brillia ★

19

## ★ Brillia ★

## 誤ったシャープニング

23/3/16 22時35分

20

★ポイント★

### 先端部が細くなったブレードのシャープニング

先端部が細くなったブレードは細くなった分だけ砥石をカッティングエッジに寄せる。

23/3/16 22時35分

21

★ポイント★

### シャープニングの手順

- ★正しい角度で研ぐ
- ★原形を保つ

23/3/16 22時35分

22

★ポイント★

### 1 : スケーラーの砥ぐエッジを確認

奇数番号→トゥが自分側  
偶数番号→トゥが向こう側

第1 シャンク

Face(内面)

70°

刃止め

70°

Cutting edge (カッティングエッジ)

Lateral surface (側面)

Back(背面)

23/3/16 22時35分

23

★ポイント★

### 2 : スケーラーを左手に持ち、砥ぐエッジを右側に向ける

親指を立てて押さえるようにしっかりと持つ

70°

カッティングエッジ

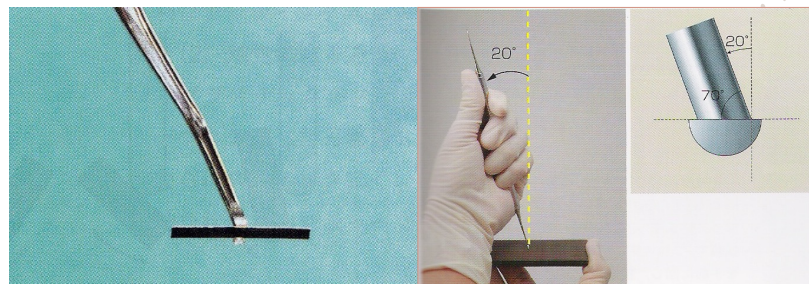
90°

23/3/16 22時35分

24

### 3 : 内面を床と平行にする

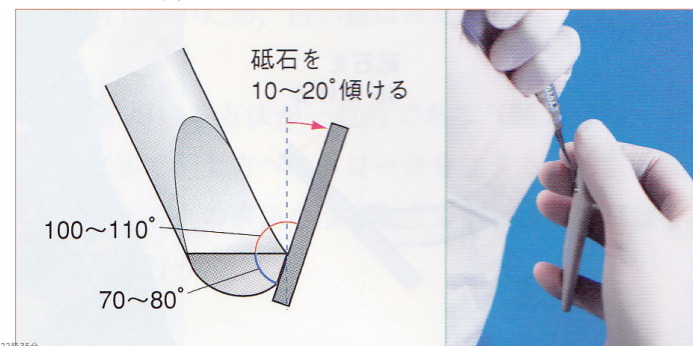
#11/12・#13/14では第一シャンクを基準に考える



23/3/16 22時35分

25

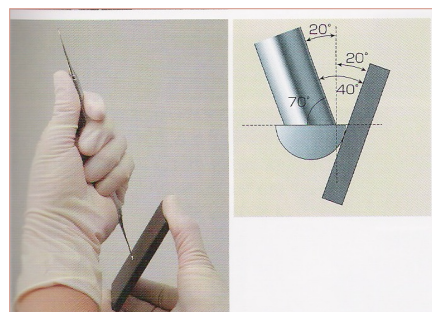
### 4 : 砥石を右手に持ちエッジに沿わせる 脇を締めて動かさないように固定する



23/3/16 22時35分

26

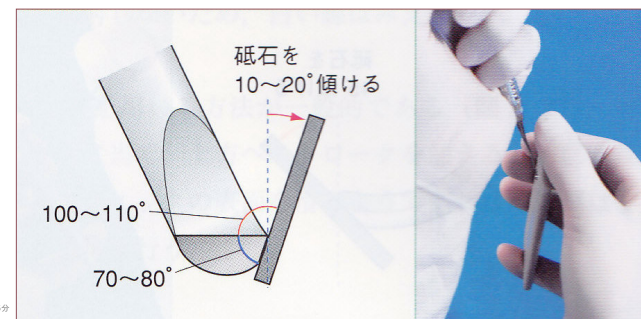
### 5 : 砥石を20°の角度に傾けシャンク側に沿わせる #11/12・#13/14では第一シャンクを基準に考える



23/3/16 22時35分

27

### 6 : 角度そのまま2 cm程度の幅で 上下運動させる 必ずdownのストロークで終わる事

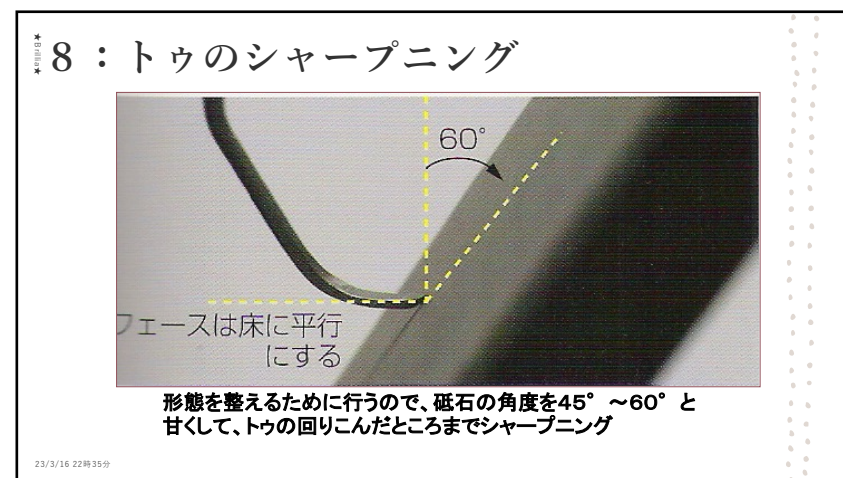


23/3/16 22時35分

28



29



30